

No.	15-3-8	場所	高森町山吹	次世代への継承キーワード
名称	田沢川の氾濫で被災した山吹診療所			避難行動 / 地域コミュニティ
災害現象	公共施設の被災			河川 田沢川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：災害当時、高森町高森北小学校 6 年生

その日午後、私たちは、部落ごとにならんで帰った。田沢川の水はまっ黒い水がゴーゴーとあふれ出て流れていた。雨はジャンジャンふるし、わたしはどうしようもなかった。しりょう所のところの橋をわたって行った。  
(中略) 五時半ごろ、家があぶなくなってきたので、私と信介は美恵子ちゃんの家へひなんした。美恵子ちゃんの家へ来ていても、家のことがしんぱいで、おちついていれなかった。

少したつと親せきのおばあさんが、わたしたちをよびに来てくれたので、また、親せきの家に行った。雨はゴーゴーとふっていた。**わたしのズボンやふくは、中から中までびしょぬれだったけれど、おそろしさでなにも、かんじなかった。**

親せきの家に来て、中にはいってうろろろしていると、前のほうで、ドドドドと大きな音をたてて山がくずれて行った。わたしはすぐ外に出て行って見た。もう一けんの家は、こわされていた。

その所へおかあさんやおとうさんたちがずぶぬれになってとんで来た。**おかさんたちは、ひざまである水をおしのけてやって来たのだそうだ。**

どこかのおじさんが、親せきの上の山もくずれかかっているといってくれた。私たちは、またにげた。

(「濁流の子」p.139 より)

記 録



田沢川の氾濫で大打撃を受けた山吹診療所

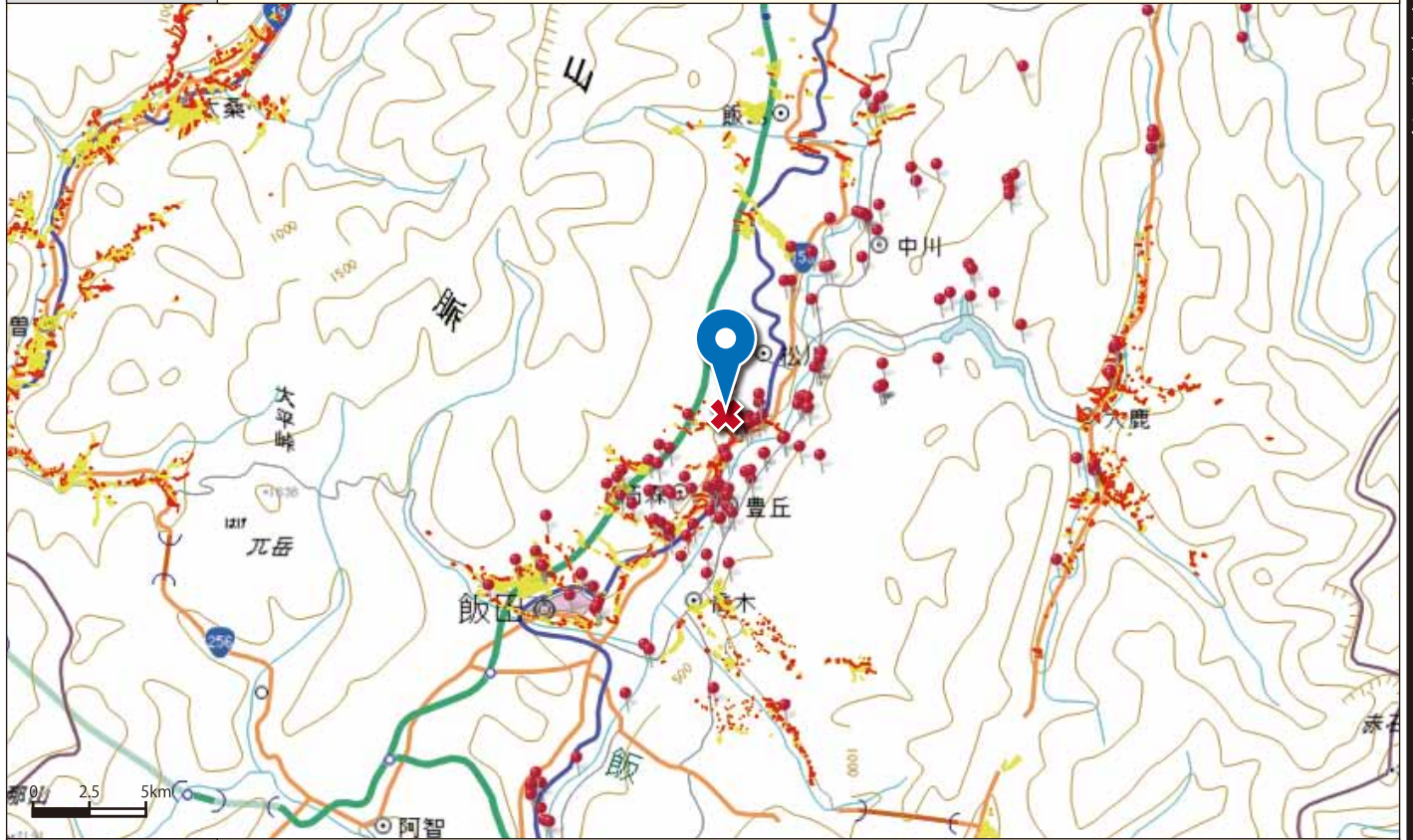
出典 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.38/ 「濁流の子」 p.139

備考

No.	15-3-8	場所	高森町山吹	緯度	35.577859
-----	--------	----	-------	----	-----------

名称	田沢川の氾濫で被災した山吹診療所	経度	137.887763
----	------------------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---